

★第二回衛生委員連合会

市民ぐるみの環境衛生

会長に北村氏を再選

第一回目の市衛生委員連合会総会は六月五日、市大会議室に地区衛生委員長ら二十四人が参加して開かれました。

まず、門田助役から「ゴミ袋の無料化を市議会に提案したが、財政直化などのため、志とちがつて十円市民負担になった。このため、配付や集金など事務的なことで大変迷惑をかけることになつたが、みなさんのお話がなければできないので、ゴミ袋の配付を含めて、衛生行政全般についてご協力をお願いしたい」とあいさつ。

北村武氏（日章）を会長に再選するなど役員選出のあと、四十九年度の経過報告、五十年度の事業計画と予算が決められました。

衛生委員連合会は、市内十八地区の衛生委員会の連合組織で、昨年ゴミ袋無料化を契機に発足したもの。ゴミ袋の配付を中心地域の環境衛生の最前線にたつとともに保健衛生、献血推進など市民の衛生思想の普及、向上に努めています。

お知らせのページ

市民の声 今の中でも満足ですか

一、米価には次の二つがあります。
○要求米価……全國農協中央会が生産農家の立場にたつて、独自の調査資料により算出した価格（調査農家数は全国で千九十五戸）
○決定米価……食管法による農林省の調査に基づき定める政府買入価格（調査農家数は全国で五千戸）

二、四十九年度の買入米価は

米価= $\frac{10 \text{ a 当り取引量}}{10 \text{ a 当り生産量}} \times 109.074 \text{ 円}$

基準価格……14.156円

このように米価の適否は、生産費、収量などの米価算出資料が適正に調査されたかどうかでまります。

三、従来の米価算出資料が適正で

なかつた。

金申も農林省も大規模農家についての調査であるため、販売農家の実状が資料にあらわれていない。

（1）金申の調査資料は

（公文書）によると、「一戸当たり米作平均面積・十アール当たり平均収量十アール当たり四百九十一」。実際は（農林省統計より）十アール当たり（販売農家）四百五十。

（2）農林省の生産費調査資料は

（農林省統計より）十アール当たり

（農林省統計より）十アール当たり